みんなとともに生きる

小学４年　馬場　望

「プールに入れなくて残念だなぁ。」

今年は、毎年行われる学校の水泳教室が中止になった。気温が高く、熱中症になる危険性があったからだ。仕方がない事だが、平泳ぎの練習ができると張り切っていたので、とても残念だった。これまで、寒くてプールに入れないことはあったが、暑さで入れないのは初めてだった。この暑さが何日も続き、地球が温暖化していることを実感した。このまま地球の温度が上がってしまったら、この先地球は大じょうぶなのかとても心配になり、「地球温暖化」をふせぐことが必要だと思った。

「地球温暖化」の原因となる温室効果ガスの一つに、二酸化炭素がある。環境省のホームページには、電気を作るために、石油や石炭を燃やしたり、車を動かすためにガソリンを使ったりすると、二酸化炭素がたくさん発生し、地球の温度をどんどん上げてしまうと書かれていた。つまり、私たちの生活が豊かになる一方で、ゲリラ豪雨による洪水や、干ばつなどが起き、環境が悪くなっているのだ。そしてこの問題は人間のものだけではない。「地球温暖化」が進むことで、動

物や植物の生きる場所が無くなってしまうかもしれないのだ。

お釈迦様が、「動物や植物にも命があるから、その命を取ることは、かわいそうなことだ」とおっしゃっていたように、地球にいる全ての生き物が安心し、よりよく生きることができるということが大切だと思った。そのために、私には少しだけれど、できることがある。二酸化炭素をへらすために、電気をむだ使いしない、物を大切にして、ごみを燃やす量を少なくする、などだ。そして、様々な動物や植物がいるこの地球に生きていられることに感謝したい。